

# 漁村における津波対策基本方針

高知県海洋局漁港課

平成 17 年 3 月

Ver.1.0

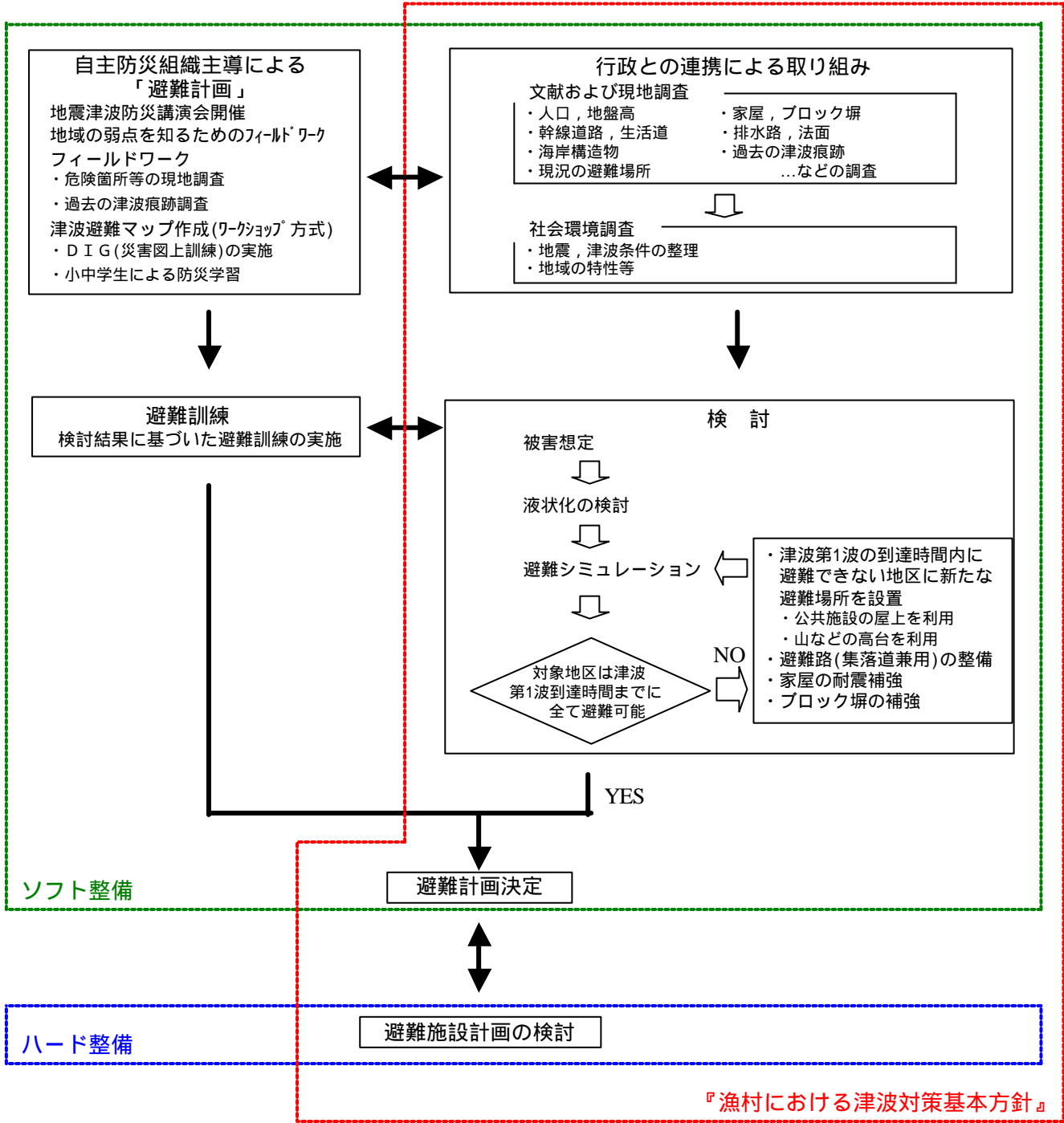
---

## はじめに

高知県の沿岸域には 130 余りの漁村が点在し、そのうち漁港の背後に 109 集落約 6 万 9000 人が生活しており近い将来起こると想定される南海地震津波により、甚大な被害を受けることが予想されています。このため高知県では上ノ加江地区をモデルに沿岸部、特に漁村での「逃げる」を前提とした、避難路や避難広場などの施設整備計画の基本方針を取りまとめました。

今後、この基本方針を県内各市町村と地域が作成する漁村での「津波避難計画」の一つの指針として、また、効率的で効果的なハード整備の計画方針として役立てていただきたいと思います。

地域主導で進める避難計画と連携した施設整備の流れ



分類	項目	ページ
1 調査	1 - 1 文献および現地調査	1-頁
	1 - 2 社会環境調査	2-頁
2 検討	2 - 1 被害想定	3-頁
	2 - 2 液状化の検討	4-頁
	2 - 3 避難シミュレーション	5-頁
	2 - 4 避難施設計画の検討	6-頁
	2 - 5 その他	7-頁